

情報通信技術企業 人材ニーズ調査概要

(1) インタビュー調査 実施概要

- ・ 調査の目的:学校法人電子学園の「ICT 専門職大学」設立に向けた人材ニーズ (研究系、業務系、技術系)についてのヒアリング調査
- ・ 調査主体 : 株式会社学び、株式会社アンド・ディ
- ・ 調査時期 : 2017年2月～3月
- ・ 調査方法 : 各社への訪問インタビュー形式で実施(インタビュー時間 : 約60分程度)
- ・ インタビュー対象 :
情報通信技術企業6社人事部門 採用および人材育成ご担当者(各社1-3名)

(2) 求める人材像、人材課題の調査結果概要

	求める人材像 (主な Keyword)	今の社内における人材課題
A社	<ul style="list-style-type: none"> ★社会人基礎力が高く、自分で学び続けられる人 ★取引先の課題を抽出し整理しICTのソフト提供サービスをソリューション営業できる人材 →ソリューション人材、パラレル人材 	<ul style="list-style-type: none"> ★自分で突き詰めて考える力が弱くなっている (答えをあたえられることへの慣れ) ★「技術大好き」な人はいるが、「営業」ができる人は少ない
B社	<ul style="list-style-type: none"> ★ゼネラリストではなく、「スペシャリスト」が必要 ★(この領域に関して) ずば抜けた興味を持っている人がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ★「現場までわかっている(手を動かせる・たたきあげ)」人材が少ない ★業務内容が上流工程のため、現場を経験できる機会が少ない ★今後は『グローバルに対応したクライテリア』ができるのが理想
C社	<ul style="list-style-type: none"> ★自分で課題設定し、解決までのアプローチを自分の言葉で説明できる人 ★挑戦心を持ち、自ら学び続けることができる人材 	<ul style="list-style-type: none"> ★(2年の研修期間が終わると) とんがりを失い丸くなっている印象 ★シニア層の(価値の明確化による)活用
D社	<ul style="list-style-type: none"> ★総合職採用であるので 「コミュニケーション力」「やり遂げる力」「リーダーシップ」がある人 	<ul style="list-style-type: none"> ★そもそも、「通信」に対する興味関心の希薄化 ★グループ会社との業務分割により、「現場感」を高めることが難しい点(業務の範囲は上流工程。実務は関連会社が担う)
E社	<ul style="list-style-type: none"> ★文理共通するのは「主体性」「論理性」「コミュニケーション力」 加えて大事なのは「(この会社への) 志望動機」 ★理系(推薦)では、加点要素として研究内容・取り組みなどの「専門性」を重視。あくまで重要なのは(公募同様に) 人間性 ★グローバル人材と協働できる人材 	<ul style="list-style-type: none"> ★「考える力」「書く力」「論理的に考える力」が足りない学生が多く、すぐに答えを求める傾向も強い ★文理の差なく、IT領域に興味希薄な層が入社してくる。 ★これまでは「HOW」が得意な会社であったが、これからは、「何をするか」を提案できることが求められる
F社	<ul style="list-style-type: none"> ★技術系であっても、公募は「ポテンシャル採用」。 (技術・専門性の高い人材は推薦枠で担保) ★重要なのは「挑戦心」と「行動力」 ★企業内起業家人材を獲得したい、また採用時点で起業家マインドをもった学生を採用したい 	<ul style="list-style-type: none"> ★近年、『第3の解をみつけにいくこと』が苦手な若手が増えている印象 相手との関係性を構築するのに必要な基礎(コミュニケーション力)が弱い ★上流工程の業務が中心の為、専門技術が必要な実務に携わる機会がない

(3) 各インタビューの課題の抽出概要

- ・ 今後は『グローバルに対応したクライテリア』ができるのが理想
- ・ グローバル人材と協働できる人材
- ・ プログラム開発等はグローバルに発注することが多く、海外の人材と協働するのが当たり前になっている
- ・ 企業内起業家人材を獲得したい、また採用時点で起業家マインドをもった学生を採用したい
- ・ 社内人材ではカバーしきれない分野の知識が、(ビジネスの領域拡大において) 必要になってきている。
- ・ 答えを与えられることに慣れてしまい、自分で調べる・考えるという志向が弱い。
- ・ 技術の会社だったため、「技術大好き」な人はいるが、「営業」ができる人は少ない。
- ・ 取引先の課題を抽出し整理し ICT のソフト提供サービスをソリューション営業できる人材が必要 (ソリューション人材)
- ・ “複数の分野の専門化” になってほしい (各技術をヨコにつなげられる、パラレル人材)
- ・ “現場までわかっている (手を動かせる・たたきあげ)” の PM(プロジェクトマネジャー) が少ない
- ・ 困難に対峙しても全力で挑み続ける強い挑戦心を持ち続け、その上で「思考力」、「活動力」、「コミュニケーション力」の3つの力を備えた人物を重視。
- ・ (文理とも) 公募では、「主体性」「論理性」「コミュニケーション力」を重視。加えて大事なものは「(この会社への) 志望動機」の内容
- ・ (理系) 推薦の場合、研究内容・取り組みなどの「専門性」はもちろん重視。但しこれらは加点要素、あくまで重要なものは(公募同様に) 人間性
- ・ これからは「事業創造人材」「イノベーション人材」の養成が求められる
- ・ 「考える力」「書く力」「論理的に考える力」が足りない学生が多い
- ・ すぐに答えを求める傾向も強い
- ・ HOW ではなく「何をするか」を提案できる人材が必要
- ・ 今後事業を維持&拡大していける人材として、「挑戦心」と「行動力」を求めている
- ・ 「とんがりの人材」と「(とんがりはないが) 平均的に優秀な人材」をバランスを見て、混ぜている
- ・ 近年、『第3の解をみつけにいくこと』が苦手な若手が増えている。あきらかに、相手・周囲に対して「ふみこみ不足」
- ・ 「+α」の新しい価値を生み出していくには、相手(周囲)との関係性を構築することが必要だが、その為の基礎力が弱い
- ・ グローバルに協業できる人材として語学のみならずコミュニケーション、ビジネスで活用できる語学力ネゴシエーション力もプレゼンテーション力が必要である

**電子学園
「i専門職大学」(仮称)
設置に関するアンケート調査
【企業対象調査】
結果報告書**

**平成30年3月
株式会社 進研アド**

企業対象 調査概要

1. 調査目的

2020年4月に学校法人電子学園が設置を計画している「i専門職大学」に関して、企業の人材ニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の人事関連業務担当者
調査エリア		北海道、岩手県、宮城県、秋田県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、福岡県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	1,472社
	回収数(回収率)	398社(27.0%)
調査時期		2018年2月1日(木)～2018年3月1日(木)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
・人事採用への関与度 ・本社所在地 ・業種 ・従業員数 ・正規社員の平均採用数 ・本年度の採用予定数 ・採用したい学問系統 ・「i専門職大学」の特色に対する魅力度 ・「i専門職大学」の社会的必要性 ・「i専門職大学」卒業生に対する採用意向 ・「i専門職大学」卒業生の毎年の採用想定人数

企業対象 調査結果まとめ



企業対象 調査結果まとめ

回答企業(回答者)の属性

※ 本調査は、学校法人電子学園が新たに設置予定の「i専門職大学」に対する人材需要を確認する目的の調査として設計した。そのため、「i専門職大学」卒業生の就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、398件から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は42.0%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が50.3%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社(本部)所在地は、「i専門職大学」のキャンパス予定地である「東京都」が74.6%で最も多い。
- 回答企業の業種としては、「情報通信業」が78.6%で最も多い。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「50名未満」が36.4%で最も多く、次いで、「100名～500名未満」(35.4%)、「50名～100名未満」(21.9%)と続く。

回答企業の採用状況(過去3か年)

- 回答企業の平均的な正規社員の採用数は、「1～5名未満」が34.2%で最も多い。次いで、「10～20名未満」(22.6%)、「5～10名未満」(21.6%)と続く。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が47.2%で最も多い。次いで、「増やす」が44.7%。
- 回答企業の採用したい学問系統は、「i専門職大学」と関連のある「情報学系統」が67.3%で最も高い。次いで、「学部や学問系統にはこだわらない」(45.7%)と続く。また、同じく「i専門職大学」と関連のある「工学系統(情報を除く)」「理学系統」「総合科学系統」は、それぞれ29.4%、28.6%、11.1%。

企業対象 調査結果まとめ

「i専門職大学」の特色に対する魅力度

- 「i専門職大学」の特色に対する魅力度(※)は、4項目中3項目で8割を超える。中でも、「ICTの基礎と最先端の知識:プログラミング・AI・ビッグデータなど、幅広いICTスキル教育を展開。高度な専門性を修得・活用し、ICTでイノベーションを起こすことができる人材を育成します。」が97.0%で最も高い。
- 次いで、「第一線で活躍する実務家教員:ICTやビジネスの最前線で活躍する実務家を招聘し、ビジネススキル教育を展開。最先端技術や最新のトピックを実践的に学びます。」が90.5%と続く。

※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

「i専門職大学」の社会的必要性

- 「i専門職大学」の社会的必要性について「必要だと思う」と答えた企業は、96.0% (382件)と、多くの企業でこれからの社会にとって必要だと認識されている。

「i専門職大学」 卒業生採用意向／毎年の採用想定人数

- 「i専門職大学」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は98.0% (390件)であり、予定している入学定員(200人)を上回る。
- 「i専門職大学」卒業生を「採用したいと思う」と答えた390件に対し、「i専門職大学」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聴取したところ、合計は891名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象 調査結果まとめ

採用意向 属性別傾向

◇本社所在地別

- 「i専門職大学」のキャンパス予定地である「東京都」の企業からの採用意向は97.3% (**289件**)と、予定している入学定員(200人)を上回る。また、「その他」の道府県に所在する企業からの採用意向は100.0% (**97件**)である。

◇業種別

- 「情報通信業」からの採用意向は98.4% (**308件**)と、予定している入学定員(200人)を上回る。また、「サービス業」からの採用意向は93.8% (**30件**)。

◇採用したい学問系統別

- 採用したい学問系統別に採用意向を見ると、「i専門職大学」と関連のある「工学系統(情報を除く)」「情報学系統」「理学系統」「総合科学系統」を学んだ学生を採用したいと考える企業からの採用意向は、それぞれ99.1% (**116件**)、97.8% (**262件**)、99.1% (**113件**)、100.0% (**44件**)である。

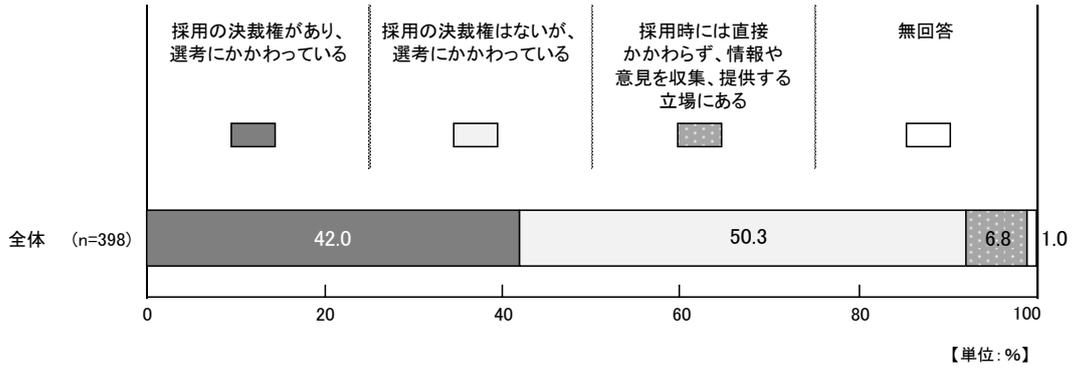
企業対象 調査結果



回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

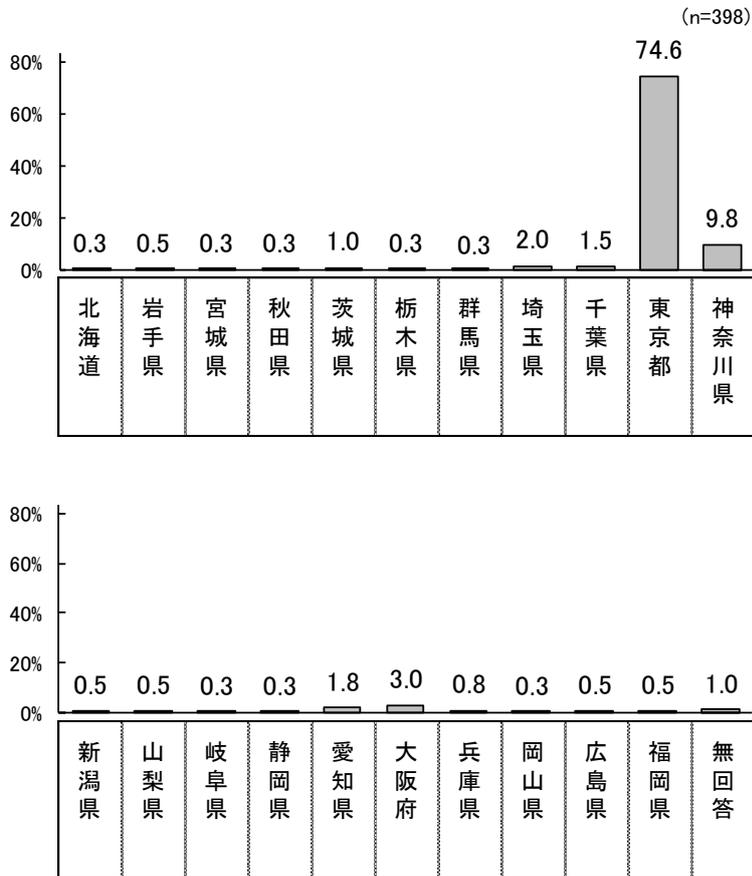
■人事採用への関与度

Q1. アンケートご回答者の人事採用への関与度をお教えてください。(該当するもの1つに☑)



■本社所在地

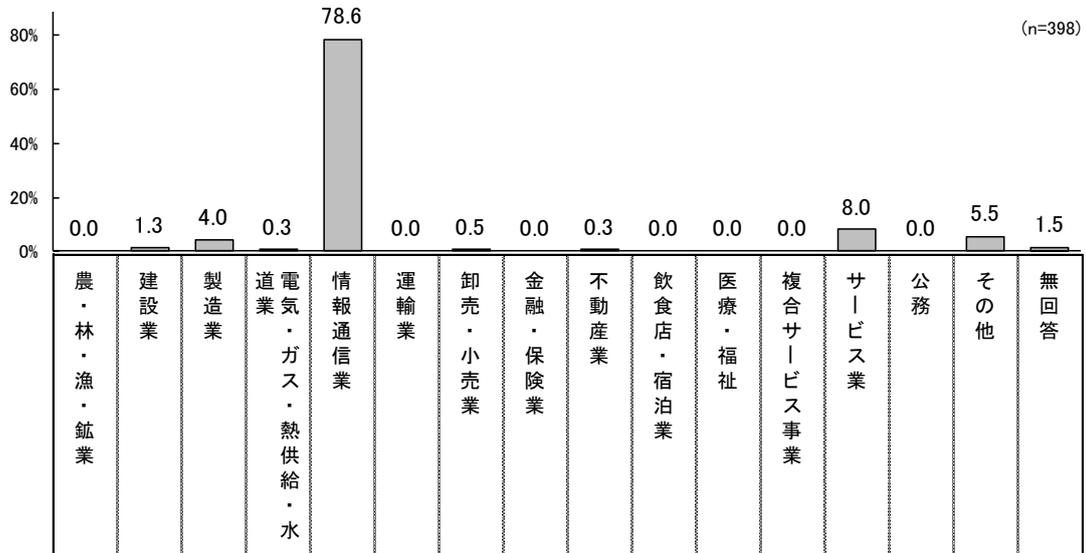
Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。



回答企業(回答者)の属性(業種/従業員数)

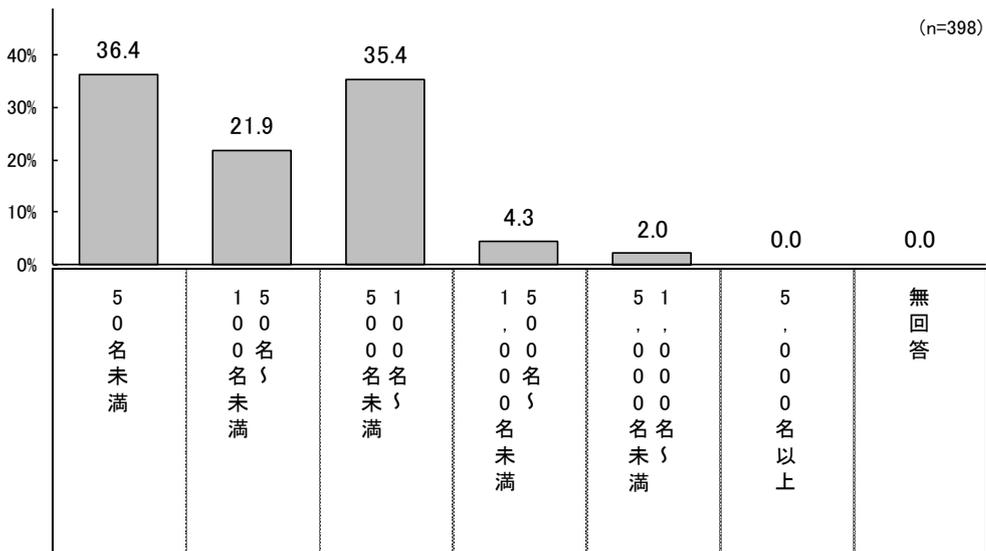
■業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(該当するもの1つに☑)



■従業員数

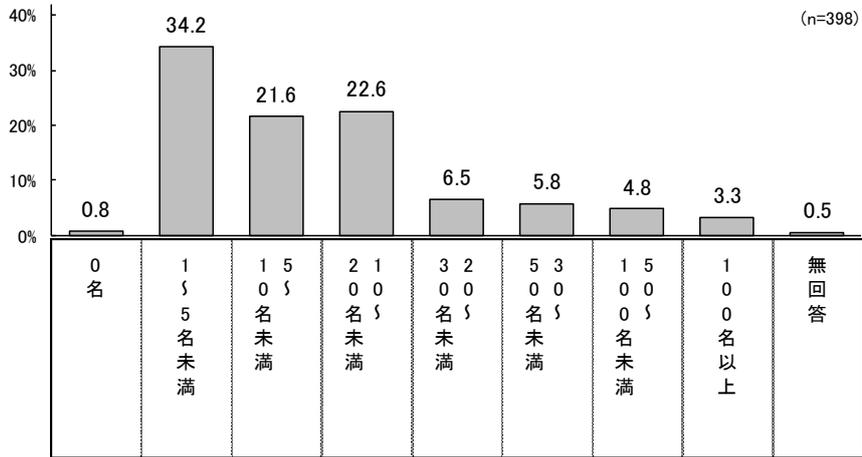
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(該当するもの1つに☑)



正規社員の平均採用数／本年度の採用予定数／採用したい学問系統

■正規社員の平均採用数

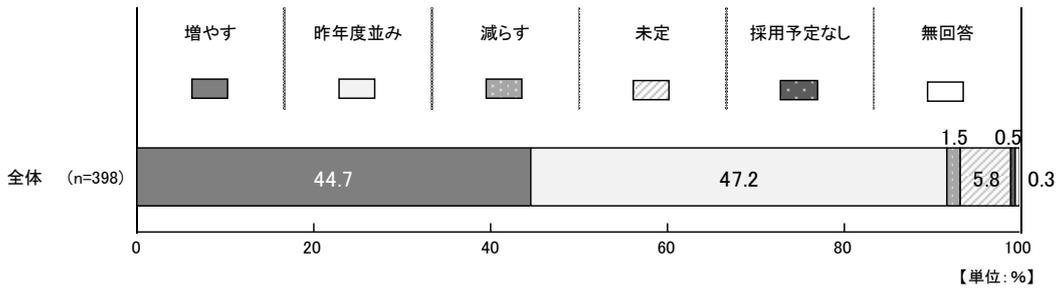
Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。



※自由記述で聴取した人数をカテゴリー分けてグラフ化

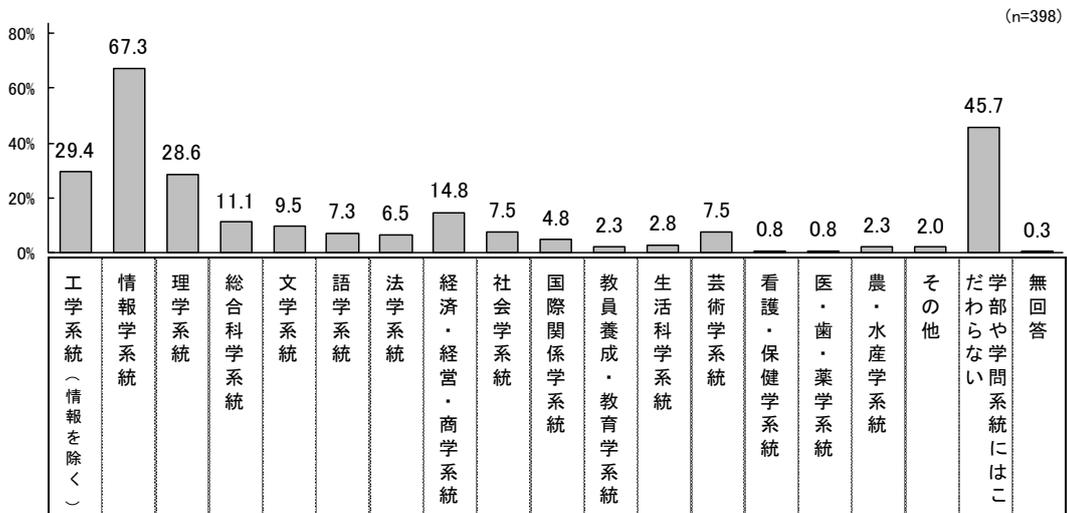
■本年度の採用予定数

Q6. 貴社・貴団体の本年度における新規大卒者の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(該当するもの1つに☑)



■採用したい学問系統

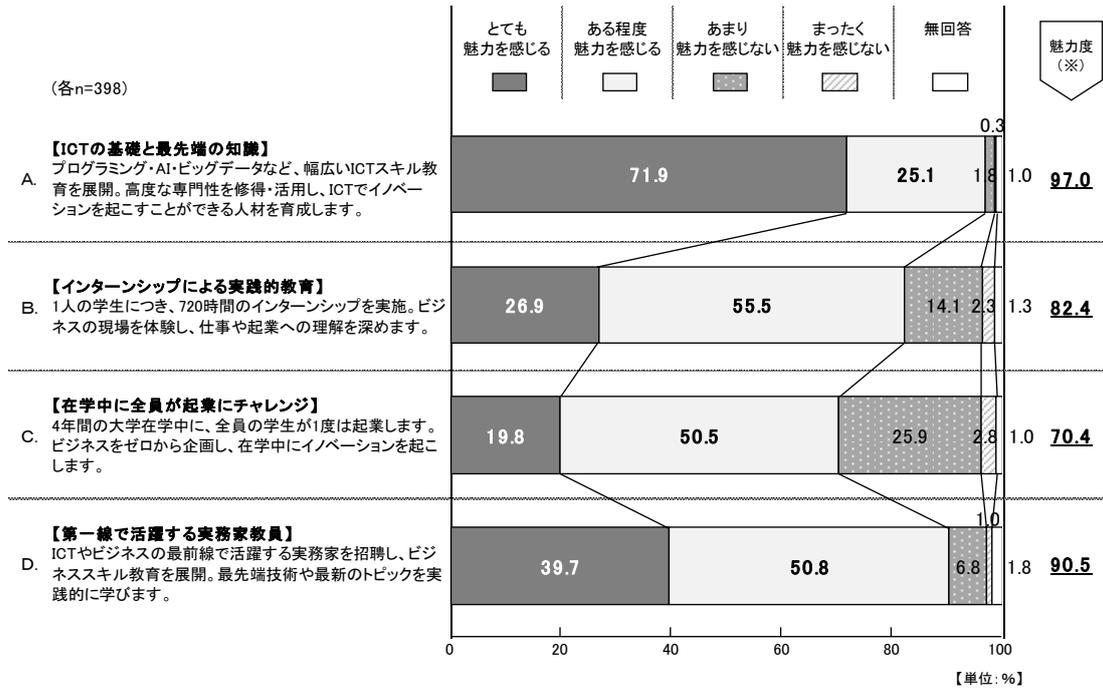
Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(該当するものすべてに☑)



「i専門職大学」の特色に対する魅力度

■「i専門職大学」の特色に対する魅力度

Q8. i専門職大学(仮称)には、以下のような特色があります。
 貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。
 (それぞれ該当するもの1つに☑)



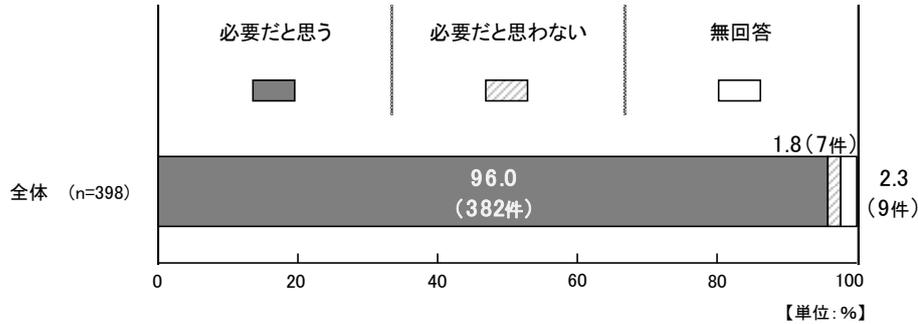
※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

「i専門職大学」の社会的必要性／ 卒業生採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

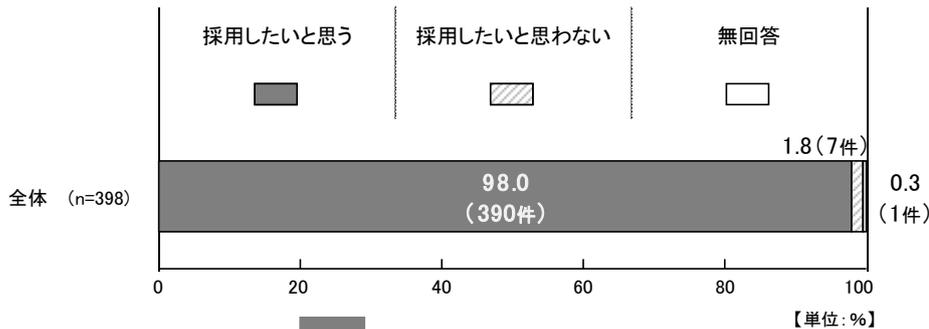
■「i専門職大学」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)はi専門職大学(仮称)はこれからの社会にとって必要だと思いますか。(該当するもの1つに☑)



■「i専門職大学」卒業生採用意向

Q10. 貴社・貴団体では、i専門職大学(仮称)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(該当するもの1つに☑)



「i専門職大学」卒業生を
「採用したいと思う」と答えた390件のみ抽出

■「i専門職大学」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをお選びください。(該当するもの1つに☑)

調査数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 5名 9名	10名 以上	人数は未確定	無回答	⇒ 毎年の採用 想定 (名)
		%	%	%	%	%	%	%		
全体	390	15.1	20.0	19.2	2.1	10.3	2.6	30.5	0.3	891
		件	59	78	75	8	40	10	119	

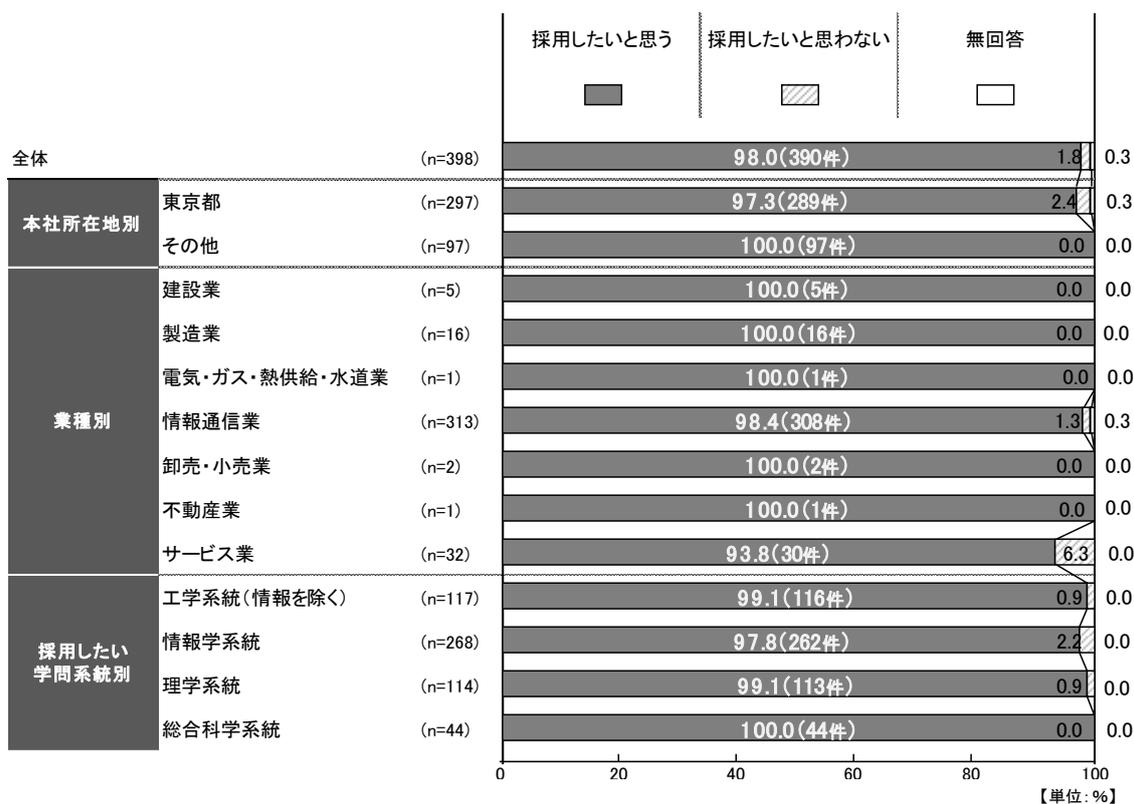
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名を代入し合計値を算出

「i専門職大学」卒業生採用意向 <属性別>

■「i専門職大学」卒業生採用意向

Q10. 貴社・貴団体では、i専門職大学(仮称)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(該当するもの1つに☑)

<属性別>



卷末資料 調查票



企業対象 調査票

17035

No.

i 専門職大学(仮称・設置構想中)に関するアンケート

学校法人電子学園では2020年4月より、⁷i 専門職大学(仮称)を新設することを構想しています。
 このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。
 ※このアンケートや同封した資料に記載されている新大学に関する事項はすべて予定であり、内容が変更になる可能性があります。

記入の方法

1. 回答は、あてはまる項目の□枠に✓をつけてください。
 2. この用紙は、電算処理しますので、汚さないようにしてください。
 3. 記入にあたっては、必ず鉛筆またはシャープペンシルで濃く書いてください。
 4. 質問により、1つだけ答えるものと、複数答えるものがあります。
 5. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。

【記入例】
 Q. どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいですか。(1つでも)

良い 記入例	<input checked="" type="checkbox"/> 文学	<input type="checkbox"/> 法学	<input type="checkbox"/> 社会学	悪い 記入例	<input type="checkbox"/> 文学	<input type="checkbox"/> 法学	<input type="checkbox"/> 社会学
	<input type="checkbox"/> 語学	<input checked="" type="checkbox"/> 国際関係			<input checked="" type="checkbox"/> 語学	<input type="checkbox"/> 国際関係	

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

- Q1. アンケートご回答者の人事採用への関与度をお教えてください。(該当するもの1つに✓)
- 採用の決裁権があり、選考にかかわっている 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある
- 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
- Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。
- 本社(本部)所在地 都 道 府 県 ←1つだけ
- Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(該当するもの1つに✓)
- | | | |
|--|----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 農・林・漁・鉱業 | <input type="checkbox"/> 運輸業 | <input type="checkbox"/> 医療・福祉 |
| <input type="checkbox"/> 建設業 | <input type="checkbox"/> 卸売・小売業 | <input type="checkbox"/> 複合サービス事業 |
| <input type="checkbox"/> 製造業 | <input type="checkbox"/> 金融・保険業 | <input type="checkbox"/> サービス業 |
| <input type="checkbox"/> 電気・ガス・熱供給・水道業 | <input type="checkbox"/> 不動産業 | <input type="checkbox"/> 公務 |
| <input type="checkbox"/> 情報通信業 | <input type="checkbox"/> 飲食店・宿泊業 | <input type="checkbox"/> その他 |
- Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(該当するもの1つに✓)
- | | | |
|-------------------------------------|--|--|
| <input type="checkbox"/> 50名未満 | <input type="checkbox"/> 100名～500名未満 | <input type="checkbox"/> 1,000名～5,000名未満 |
| <input type="checkbox"/> 50名～100名未満 | <input type="checkbox"/> 500名～1,000名未満 | <input type="checkbox"/> 5,000名以上 |
- Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。
- 過去3か年 平均 名程度 ※アラビア数字(1,2,3・・・)でご記入ください。
- Q6. 貴社・貴団体の本年度における新規大卒者の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(該当するもの1つに✓)
- | | | |
|--------------------------------|------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 増やす | <input type="checkbox"/> 減らす | <input type="checkbox"/> 採用予定なし |
| <input type="checkbox"/> 昨年度並み | <input type="checkbox"/> 未定 | |

裏面へ続く→

企業対象 調査票

17036

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(該当するものすべてに☑)

- | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 工学系統(情報を除く) | <input type="checkbox"/> 法学系統 | <input type="checkbox"/> 芸術学系統 |
| <input type="checkbox"/> 情報学系統 | <input type="checkbox"/> 経済・経営・商学系統 | <input type="checkbox"/> 看護・保健学系統 |
| <input type="checkbox"/> 理学系統 | <input type="checkbox"/> 社会学系統 | <input type="checkbox"/> 医・歯・薬学系統 |
| <input type="checkbox"/> 総合科学系統 | <input type="checkbox"/> 国際関係学系統 | <input type="checkbox"/> 農・水産学系統 |
| <input type="checkbox"/> 文学系統 | <input type="checkbox"/> 教員養成・教育学系統 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 語学系統 | <input type="checkbox"/> 生活科学系統 | <input type="checkbox"/> 学部や学問系統にはこだわらない |

2020年4月に、新しく⁷⁴i 専門職大学(仮称)を設置することを構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

Q8. ⁷⁴i 専門職大学(仮称)には、以下のような特色があります。
貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色は
それぞれの程度魅力に感じますか。(それぞれ該当するもの1つに☑)

		とても 魅力を感じ	ある程度 魅力を感じ	あまり 魅力を感じない	まったく 魅力を感じない
例.	〇〇が身につきます。	→ <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
A.	【ICTの基礎と最先端の知識】 プログラミング・AI・ビッグデータなど、幅広いICTスキル教育を展開。高度な専門性を修得・活用し、ICTでイノベーションを起こすことができる人材を育成します。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B.	【インターンシップによる実践的教育】 1人の学生につき、720時間のインターンシップを実施。ビジネスの現場を体験し、仕事や起業への理解を深めます。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C.	【在学中に全員が起業にチャレンジ】 4年間の大学在学中に、全員の学生が1度は起業します。ビジネスをゼロから企画し、在学中にイノベーションを起こします。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D.	【第一線で活躍する実務家教員】 ICTやビジネスの最前線で活躍する実務家を招聘し、ビジネススキル教育を展開。最先端技術や最新のトピックを実践的に学びます。	→ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は⁷⁴i 専門職大学(仮称)は
これからの社会にとって必要だと思われませんか。(該当するもの1つに☑)

- 必要だと思う 必要だと思わない

Q10. 貴社・貴団体では、⁷⁴i 専門職大学(仮称)を卒業した学生について、
採用したいと思われませんか。(該当するもの1つに☑)

- 採用したいと思う 採用したいと思わない

Q11. Q10で「採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをお選びください。(該当するもの1つに☑)

※尚、この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1名 | <input type="checkbox"/> 3名 | <input type="checkbox"/> 5名～9名 | <input type="checkbox"/> 人数は未確定 |
| <input type="checkbox"/> 2名 | <input type="checkbox"/> 4名 | <input type="checkbox"/> 10名以上 | |

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。***

